

大阪DWAT派遣を終えて～能登半島地震の1.5次避難所支援～

池田市社会福祉協議会 澤村さおり(豊能支部)

このたび、大阪DWATとして、能登半島地震の支援活動に参加しましたので、活動内容をご紹介します。

DWATと石川県の活動

DWAT(Disaster Welfare Assistance Team)は、「災害派遣福祉チーム」と言い、都道府県単位の公的なチームです。主な活動は、被災地の避難所で、被災者のケア・福祉相談・環境整備などに取り組むこと。大阪は令和元年に発足し、事務局は大阪府福祉部地域福祉課が担っています。職場等の推薦を受けた社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員など福祉系有資格者が、チーム員として登録しています(令和6年3月末現在406人)。

能登半島地震では、北海道から沖縄まで全国のDWATが石川県に入り、大阪DWATは、金沢市のスポーツセンターに設置された1.5次避難所で活動しました(表1)。



避難所内「なんでも福祉相談コーナー」

場面でも、穏やかに対応依頼を働きかける。限られた時間の中でも慌てることなく、被災者に寄り添い生活全体をアセスメント、リスクを把握し次の動きを見立てるこ



DWATの全体朝礼

支援が必要な避難者

1.5次避難所は、被災地の避難所から2次避難所(ホテルや旅館など)に移るまでの仮住まい。速やかに移られる方がいる一方、さまざまな事情から滞在が長期化しているケースがありました。うつ病の父と知的障がいのある高校生、80代母と精神疾患のある娘、発達障がいのある親子、ADLが低下し車椅子利用になった高齢者、失業と親友の死への自責

を訴える方など。このようなケースは、特に丁寧な対応が求められ、避難所にいる保健師・看護師・運営者の県職員とケース会議を開くなどし、支援者が交替しても対応できるよう、連携していました。

福祉職の調整力と対応力

毎日20～30名のチーム員が活動し、私は現場統括を担当しました。全体の動きを見て特に感心したのは、福祉職の調整力・対応力です。初対面の外部支援者に対し、混乱する

とができる。次々寄せられる相談に対して、互いの職種経験を活かし、みんなで知恵を出す。災害支援への基本的理解はもちろん、日頃から培った実践に裏付けられた、安定感のある支援活動が展開されていました。

具体的な活動内容、活動の課題、改善点、うまく行ったことなど、紙面に書ききれないことは、下記のシンポジウムで！多くの皆様のご参加をお待ちしています。

表1 大阪DWAT 能登半島地震活動概要

- 活動先 : いしかわ総合スポーツセンター
(金沢市の1.5次避難所 入所者約200人)
- 活動期間 : 令和6年1月25日(木)～3月17日(日)
(53日間)
- 活動人数 : 38人(延べ167人)
- 派遣期間 : 1クール4日間、3月は5日間
- 活動内容 : 「なんでも福祉相談コーナー」に配属
避難者の受付、避難者のアセスメント・健康管理、
退所支援

第32回全国大会・社会福祉士学会(栃木大会)のご案内

令和6年6月23日(日)9:00～12:00

学会にて自主企画シンポジウム1「都道府県災害派遣福祉チームにおける社会福祉士の役割と活動課題～令和6年能登半島地震の広域派遣支援活動を通して～」を開催します。大阪・宮崎・群馬・静岡のDWATチーム員と能登支援活動を振り返り、これからについてみんなで考えたいと思います。

生涯研修センター情報 科目リーダーとして、基礎研修を振り返ってみました

実践評価・実践研究系科目 科目リーダー 松岡直子

「本日の研修はこれで終わりです」と言われた時はすごく賢くなった気がして、職場に帰ったら、「あれもしよう」「これもしよう」といつも思っていました。でも実際は、多忙な時を送る間に、『あれ』も『これ』も忘れ、レポート作成も苦労の連続…。私にとって基礎研修を受けている3年間はそんな日々でした。ファシリテーターをさせて頂いているときは、受講時より半歩前進。事前の打ち合わせで予習ができ、さらに皆さんの意見を聴いて深め、この頃やっと職場で社会福祉士の役割を見つけ、動き出せたような気がします。この度、科目リーダーをさせて頂くことになりましたが、恥ずかしながら、基礎研修を受けている時、どの科目の講義を受けているのかはもちろん、専門科目があるということすら理解していませんでした。

生涯研修制度とは、基礎課程と専門課程の二つからなり、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを修了することで基礎課程修了となります。基礎課程では、社会福祉士としての共通基盤や基礎的な実践を学び、専門職としてのアイデンティティを形成することがねらいです。社会福祉援助の共通基盤は『相談援助』『生活構造』『権利擁護』『福祉経営』『地域支援』『実践研究』からなり、私の担当する『実践評価・実践研究系科目』は『実践研究』の領域に分類されます。基礎研修Ⅱ・Ⅲで学ぶ科目となります。

基礎研修Ⅱでは『実践研究の意義と方法』『実践研究のた

めの記録』『実践研究の方法』を学び、実際に実践研究をしてグループごとに実践研究発表を行います。研究発表者として事例などのテーマを深め、評価することで、より良い支援を見出すことができ、発表会に参加する人は、発表者の実践を追体験することで、自らの実践を振り返ることになります。

基礎研修Ⅲでは、『対人援助と事例研究』『事例研究の基本枠組み』『事例研究の方法としてのケースカンファレンス』『事例研究のための事例のまとめ方』を学びます。事例研究の枠組みに基づいた模擬事例検討会を行うことで、検討会の方法だけでなく、その意義や目的、記録の仕方や意義・目的などを学びます。

みなさんは「社会福祉士って何する人？」って聞かれたことはありますか？聞かれたことのある人はその時、どんなふうに答えましたか？納得いく答えができなかった人はありませんでしたか？答えられなかったり、納得いく答えができなかった人は、自らの実践を振り返り、研究・検討することでその答えが見つかるはずですよ。私は科目リーダーとしてはまだまだ新米ですが、皆さんと一緒に実践を深め、そのお手伝いができればと思っています。

基礎課程は修了したけど、もう一度学んでみたいと思っている人、ファシリテーターや研修委員として参加してみませんか？自分が受講していた時とは別の目線で、発見もたくさんあると思いますよ。

地域情報

道草(道中)を楽しむ

北河内支部 副支部長 仲村直樹

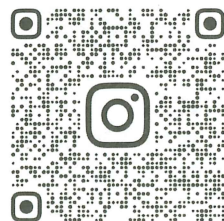
私の好きな言葉に「道草(道中)を楽しめ」という言葉があります。

支部活動に参加する理由の1つとして、「新しい出会いや発見」を求めて、日々活動を楽しんでいます。私が所属する北河内支部では、支部活動の基本的な考え方として「学びながら繋がりを作っていく」ことを継続し活動に取り組んでいます。

繋がりは、福祉の枠にとらわれずに、他業種の方々と交流することで新しい発見を学んでいます。ソーシャルワーカーとして、また人として求められる知識・技能・価値の向上のため、令和5年度は、「農福連携で『働きたい』を叶える」で一般企業側からの視点、「子どもの豊かな発達を支援する」で児童発達支援、「困難を抱えるシングルマザーや子どもたち・単身女性とともに」で女性支援といった研修会や事例検討会を実施いたしました。

また、気軽に意見・情報交換ができる場を設け、会員相互のネットワークづくりを継続するために交流会として、「納涼会」や「支部の声を気楽に聞く会」を開催しております。情報発信としては、Instagram等のSNSを活用し、支部のイベントや支部会員の活動を発信しております。

新しい出会いは、新しい自分を再構築できる「きっかけ」になると個人的に思っています。多くの方に支部活動に参加して頂き、お互いに良い新しい出会いや発見ができ、引き出しを増やす「きっかけ」に繋がれば嬉しく思っています。



北河内支部のInstagramのQRコードです。

ぜひフォローください。 @SW.KITAKAWACHI

活動予定

6月

7月

1 土	なにわだより発行
2 日	基礎研修Ⅱ/Ⅲ
3 月	相談C支援班会議
4 火	
5 水	
6 木	
7 金	
8 土	
9 日	
10 月	
11 火	理事運営会議
12 水	
13 木	生涯研修部会／地域包括NW委員会
14 金	
15 土	成年後見人材育成研修
16 日	基礎研修Ⅱ/Ⅲ
17 月	
18 火	
19 水	
20 木	支部長会議
21 金	相談C相談部会
22 土	全国大会栃木大会
23 日	全国大会栃木大会
24 月	
25 火	
26 水	
27 木	
28 金	
29 土	定時総会／理事会
30 日	

1 月	相談C支援班会議
2 火	
3 水	
4 木	
5 金	
6 土	成年後見人材育成研修
7 日	基礎研修Ⅱ/Ⅲ
8 月	
9 火	理事運営会議
10 水	
11 木	生涯研修部会／地域包括NW委員会
12 金	
13 土	
14 日	
15 月祝	
16 火	相談C運営会議
17 水	
18 木	支部長会議
19 金	
20 土	
21 日	子ども家庭福祉PT 夏講座
22 月	子ども家庭福祉PT 和泉学園見学
23 火	
24 水	
25 木	
26 金	
27 土	成年後見人材育成研修
28 日	
29 月	
30 火	
31 水	

なにわの掲示板

相談センター【ぱあとなあ名簿登録料】引き落としては6月27日(木)です。

ぱあとなあ名簿登録料(10,000円)は6/27にお届け口座より自動引き落としします。尚、引き落とし手数料(121円)をご負担いただいております。ご了承ください。

2024年度定時総会 6月29日(土)13:30~15:00 大阪府社会福祉会館501号室

昨年に引き続き対面開催の予定です。今回のなにわだよりに議案書を同封しております。万が一、ご都合等で会場に来られない場合は別途往復はがきで届きます委任状・議決権行使書をご返送ください。詳細は後日HP等でお知らせします。

定時総会の委任状・議決権行使書は 6/14(金)までに返送願います。

なにわだよりに同封しています総会資料とは別に出欠確認の往復はがきを送付します。議案内容について個別にご審議いただき、委任状・議決権行使書を6/14(金)までにご返送願います。

生涯研修センター 基礎研修Ⅰの募集が始まります。

日程等の詳細は同封の「基礎研修Ⅰ 募集の案内」を参照願います。社会福祉士としての知識技術価値観を学ぶ1年目の研修です。受講を機会として支部や他の会員とつながるチャンスです。また、認定社会福祉士を目指される方、成年後見活動をお考えの方は基礎研修ⅠⅡⅢを修了する必要があります。ぜひ、多数のご参加をお待ちしております。

子ども家庭福祉PT 夏講座

7月21日(日)、8月3日(土)、9月28日(土)の3日間で開催されます。詳細は同封のチラシを参照願います。

～いちご一会をつなぎ 未来を描いてゆく～ 第32回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会 栃木大会

“これからの地域社会を担う社会福祉士の挑戦”をテーマに2024年6月22、23日に開催されます。詳しくは日本社会福祉士会HPを参照下さい。

法人賛助会員を募集しています。

本会の活動へご理解頂ける法人賛助会員を募っています。求人広告など賛助会員ならではの特典もあります。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

事務局の電話・窓口対応時間の変更について

事情により当面の間、事務局の電話・窓口対応時間を10:00~12:30、13:15~17:00とさせていただきます。ご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

住所・勤務先などの変更について

住所・職場・連絡先の電話番号など変更があった場合、本会HP会員ページへ変更届け出書を掲示していますので忘れずに提出してください。

会議報告について

会議報告は、HPの会員ページに会議議事録として掲載しています。

本会HP会員ページのID/PWについて

会員ページの閲覧にはID/PWが必要です。ID/PWは新入会時の資料送付状に記載しています。わからない方は、必ずメールもしくはHPのお問い合わせフォームで会員番号・氏名を明記の上お問い合わせください。電話ではお答えできません。

編集後記

春も一瞬に過ぎ去り、梅雨やその向こうには暑い(熱い?)夏が待っています。

前月号では桜の話がありましたが、春の期間が年々短くなっていると感じているのはわたしだけでしょうか。

(たまちゃん)



大阪社会福祉士会 会員数(4月末現在) 2,346名



公益社団法人 大阪社会福祉士会

Osaka Association of Certified Social Workers

〒542-0012 大阪市中央区谷町七丁目4番15号 大阪府社会福祉会館内(1階)

編集責任者: (公社)大阪社会福祉士会 会長 前川阿紀子

事務局開局時間/月~金の平日 10:00~12:30、13:15~17:00

TEL 06-4304-2772 FAX 06-4304-2773 E-mail ofuku@oacsw.or.jp URL <http://www.oacsw.or.jp/>